

更に相手が強大で
自國だけでは太刀打ち
できない時は
日頃から仲のいい国に
助けを求めて力を合わせて
対抗してもいい権利を
与えました
これが集団的自衛権です



ところが
このように明文化
したからといって
加盟国が必ず守る
とは限りません
無茶な独裁者が
他国を侵略することは
現在もおきています



安保理は
その2つの自衛権を
害するものではない
こう定めたのが
国連憲章51条です

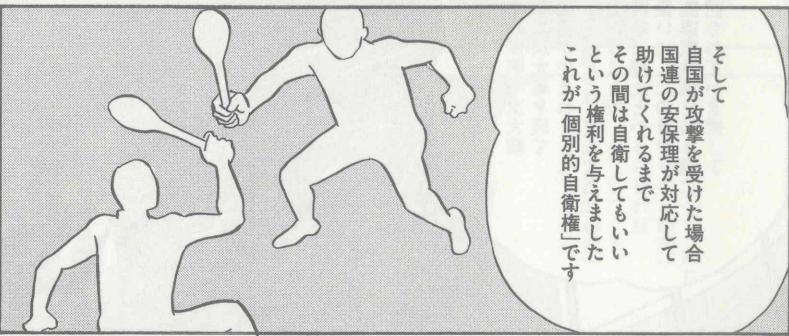


そこで国連が考えたのが
平和を破つて侵略行為をする
乱暴な国が出現したら
国際社会が一致協力して
対応しなければならない
という決まりでした
これが「集団安全保障」の概念です



それに関して国連は
集団的自衛権の行使について
一定の要件が必要である
としました

しかし 自分達がおこした戦争を
言葉の解釈を拡大して
「これは集団的自衛権の行使だから
正当である」と
主張するケースが想定されます

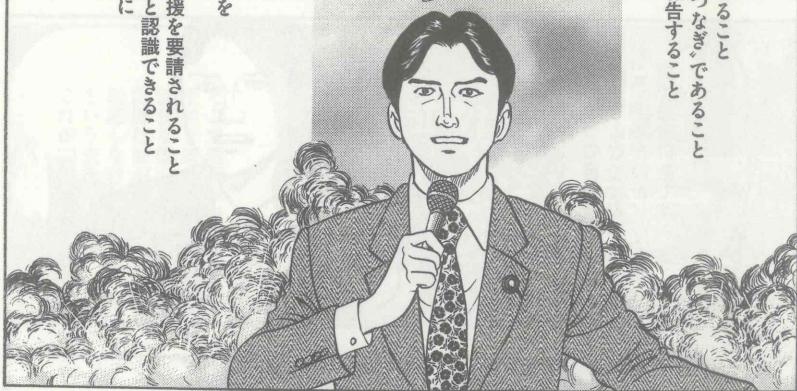


そして
自國が攻撃を受けた場合
国連の安保理が対応して
助けてくれるまで
その間は自衛してもいい
という権利を与えました
これが「個別的自衛権」です

- まず
- ①その国が明確な武力攻撃を受けていること
 - ②安保理が必要な措置をとるまでの「つなぎ」であること
 - ③どう対抗したかをすぐに安保理に報告すること

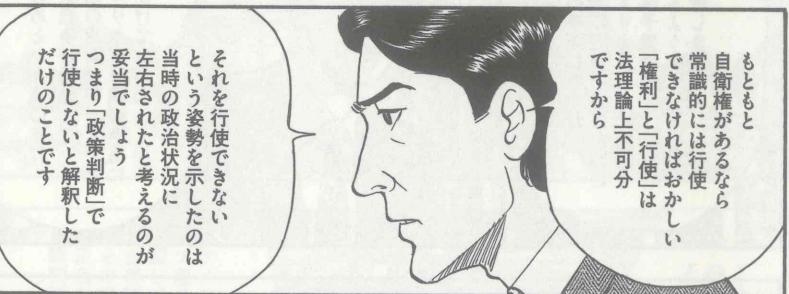


- ④不法な武力攻撃があつたということを
その国が宣言すること
⑤その国から「助けて欲しい」という支援を要請されること
⑥公平な立場から助ける必要性があると認識できること
⑦その助けが最悪の状態を避けるために
止むを得ないことがあること



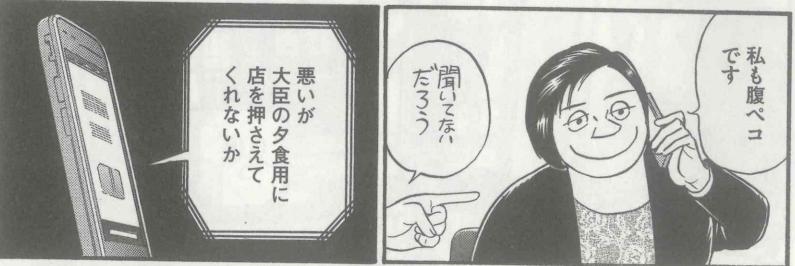
アメリカのベトナム戦争
ソ連のチェコスロバキア侵攻に
関しては
当事国の意見が食い違い
その戦争が集団的自衛権の
正当な行為であったかどうか
疑問視されています







決まったら
メールに
入れておきます
のでよろしく!
店で待つてます



悪いが大臣の夕食用に
店を押させて
くれないか

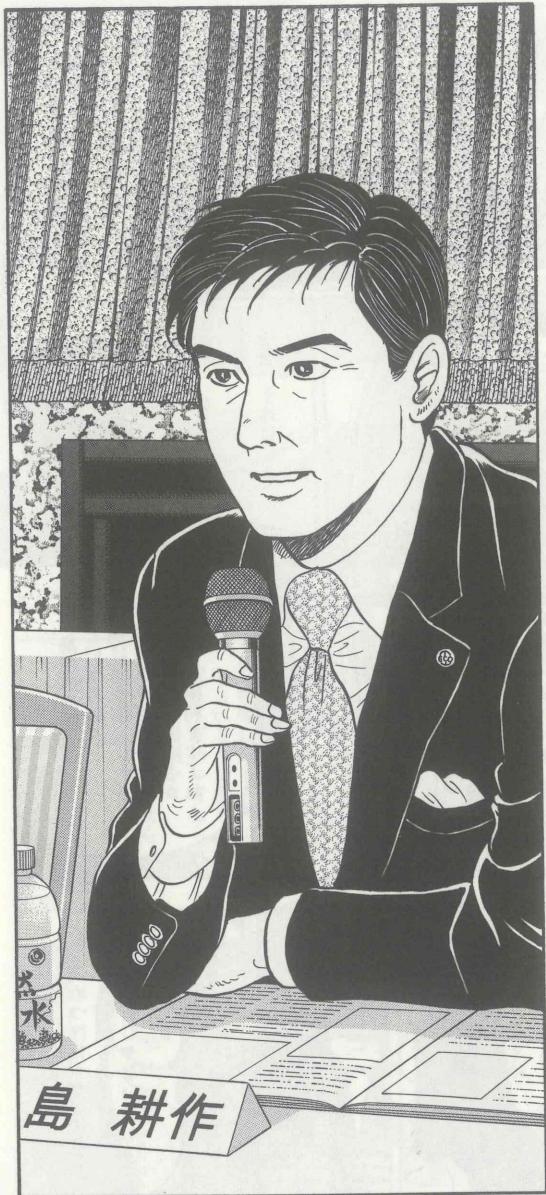
聞いてな
だろう



嬉しそうだな



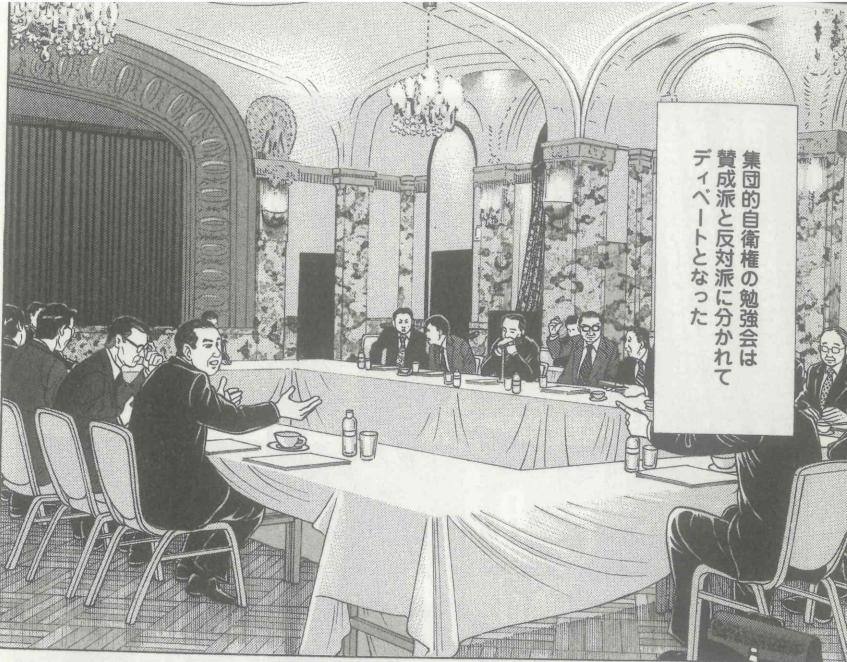
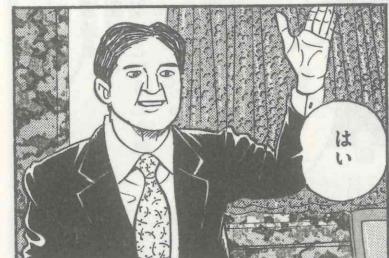
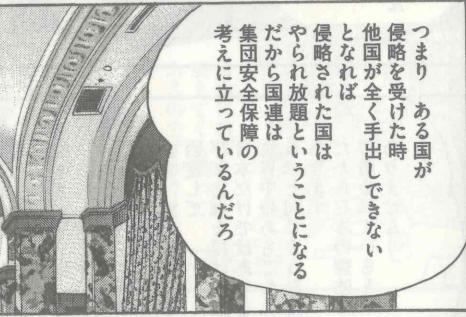
小料理屋とか
焼鳥屋とか
できれば
人目につかない
個室のあるところ



STEP 39
The Groove
Line ②



STEP 38 / おわり



マスコミの論調にも
多く見られるのですが
戦後日本が平和でこられたのは
憲法に基づく平和主義が
あったからだという意見が
あります

だから日本は
世界から尊敬されている
ということも聞きます
集団的自衛権を認める
この尊敬を裏切ることになるん
じゃないでしょうか

山田 老夫

お答えします

ます 武力の行使を
否定して
平和主義を掲げる国は
日本だけではありません
世界中のあちこちに
日本と同じような憲法が
あります
だから日本の憲法9条だけが
尊敬されているということは
ありません

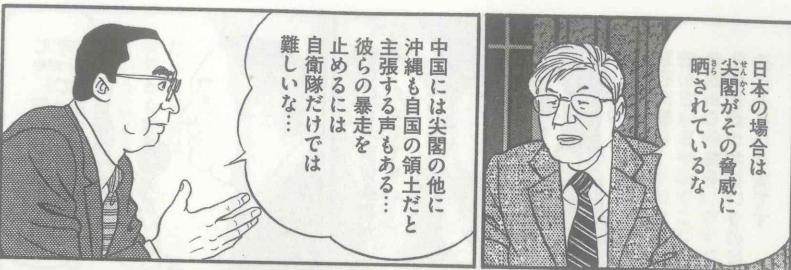
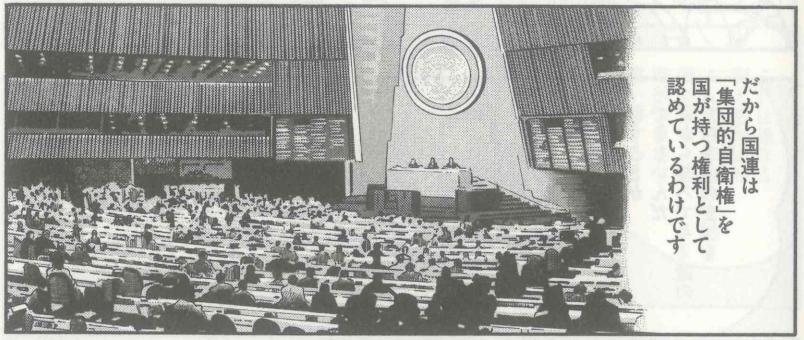
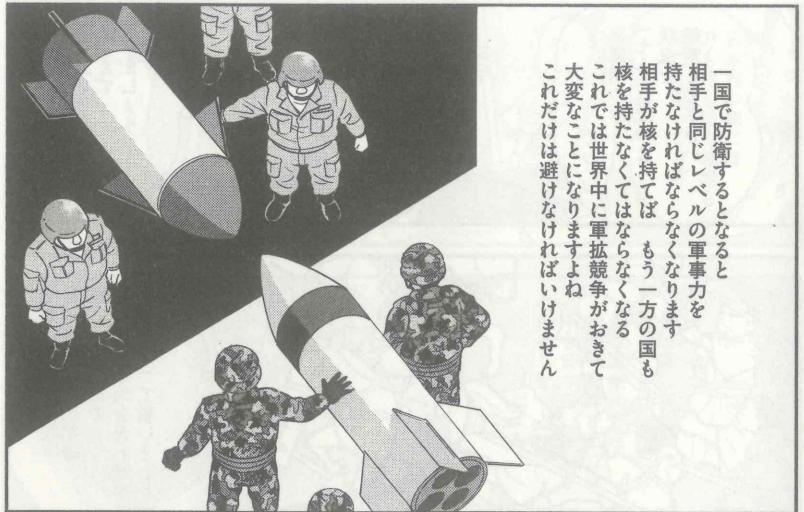


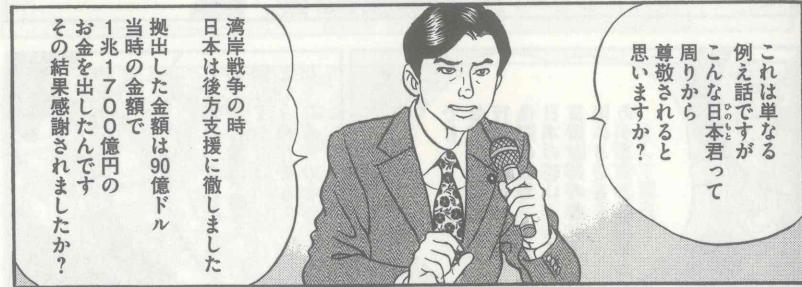
それに平和憲法を
持っている国だから
攻撃してこないということは
ありません
世界はもつとシビアです
更に日本の憲法9条を
知っている国も
はつきり言つて少数です

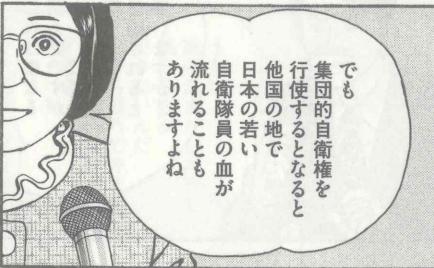
憲法9条があつたから
日本が戦争に巻き込まれ
なかつたというのは
日本人だけの思い込みでしょう

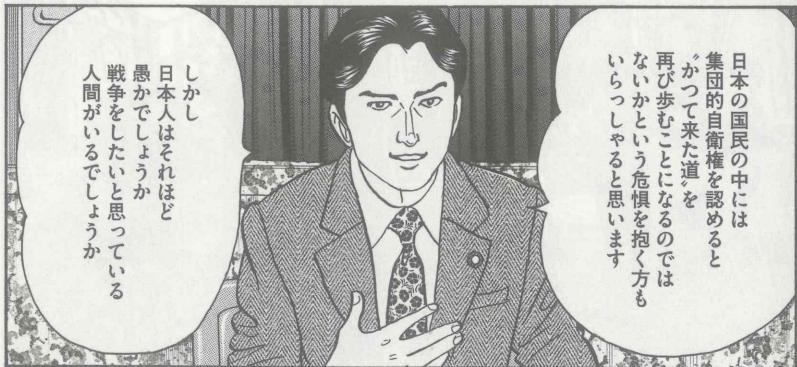


例えばフィリピンの事例を考えてみましょう
一九九一年にアメリカはフィリピンにあつた
スピードック海軍基地から撤退しました
フィリピンが地代を吊り上げ
それに応じなかつたアメリカに対し
基地の撤去を求めたのが理由の一つです
その結果どうなりましたか
領土拡大を自論む中国が周辺の島を実効支配して
領有権を主張し 至るところで紛争をおこしています
アメリカのプレゼンスがなくなることになる
といういい事例です









うーん
加治一明
いいことを言う！
その通りだ

テレビを見ていると
集団的自衛権の
行使は
「結局はアメリカの
片棒をかついで
戦争に巻き込まれる
だけだ」という
論調をよく
耳にします

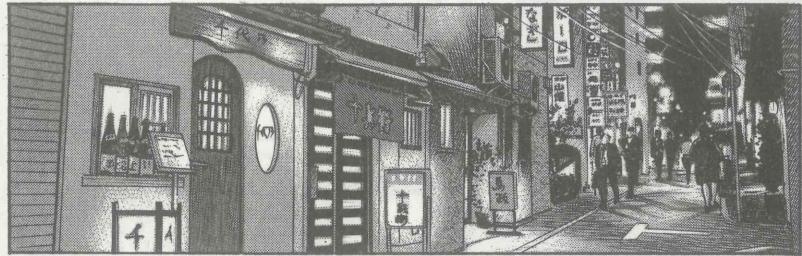
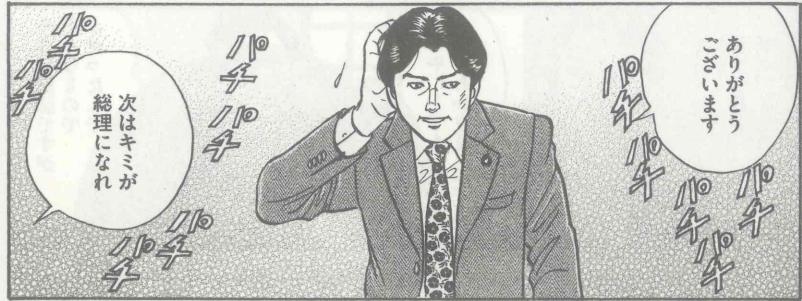
同盟国だから
そういう側面も
あります

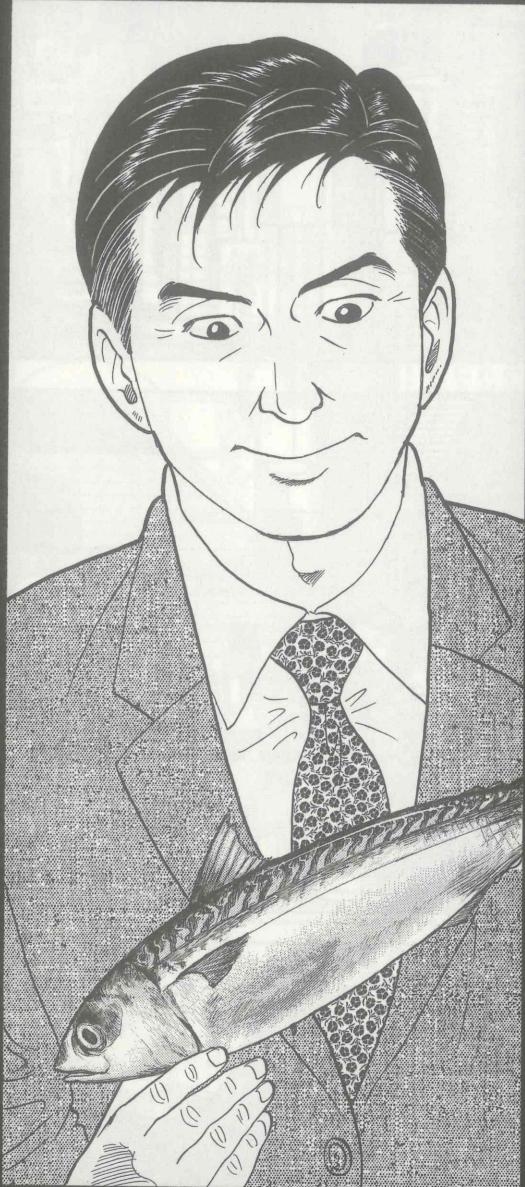
現在アメリカの力は
相対的に落ちています
それを補うことが
日本にはできます
そういう構造を
作っておかないと
日本は「見捨てられる」
可能性があります

しかし今の日本は
「巻きこまれる」
だけではなくて
「巻き込む」
状況にある
ということも
言えます

日本の国民の中には
集団的自衛権を認めると
「かつて来た道」を
再び歩むことになるのではないかという危惧を抱く方も
いらっしゃると思います

しかし
日本人はそれほど
愚かでしょうか
戦争をしたいと思つて
いる
人間がいるでしようか





STEP 40
Cruisin'



STEP 39 /おわり